

# 「時代の進展や産業界の動向等に対応した本県産業教育の在り方について」

～ 山形の未来を紡ぐ「夢」と「人」の「ネットワーク」づくり～

## 【審議の視点】

### 1 専門高校はどのような人材育成をめざすべきか 2 地域産業界や上級学校との連携・接続をどのように進めるか 3 専門学科の配置はどうあるべきか

#### 【本県産業社会の現状と今後の動向】

- 本県の産業構造
  - 県内総生産額：約 4 兆 1 千億円(平成 18 年度)
  - 構成比 1 次：3.1% 2 次：29.5% 3 次：70.4%
  - \* 全国に比べ、1 次、2 次の割合が高い
- 地域経済を取り巻く環境の変化
  - ・ 少子高齢化、情報化、経済のグローバル化の進展
  - ・ 環境やエネルギー、食、健康、福祉への関心の高まり
  - ・ 産業の複合化による新たな付加価値商品づくり
  - ・ 「物質的な豊かさ」から「心の豊かさ」へ個の生活スタイルの変化
- 本県の豊かな資源を活かした次代を拓く人材育成の推進

#### 【本県高等学校の現状と課題】

- 産業社会の変化への対応
  - ・ 変化へ適切に対応した産業教育の検討
  - ・ 専門高校生に求める資質・能力の変化
  - ・ 地域産業担い手育成としての期待
- 生徒の多様化への対応
  - ・ 中学卒業者の 99.0%が高校進学
  - ・ 学びの目的が希薄
- 学校から社会への移行に係る課題
  - ・ 産業が求める高卒求人雇用情勢の変化
  - ・ 早期離職率が全国平均に近づく
  - ・ 中途採用や派遣、臨時雇用等雇用形態の多様化

#### 【県の施策等】

- 第 5 次山形県教育振興計画(平成 16 年 3 月)
  - 「いのち」そして「まなび」と「かかわり」
- やまがた教育コミュニケーション改革行動指針(平成 21 年 3 月)

#### 【国の動向】

- 教育基本法の改正(平成 18 年 12 月)
- 教育振興基本計画(平成 20 年 7 月)
- 高校学習指導要領の告示(平成 21 年 3 月)
- 中央教育審議会諮問(平成 20 年 12 月)
  - 「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」

## 本県産業教育の改善・充実の方向性と具体的方策

### 1 産業社会の変化に主体的に対応できる資質・能力の育成

- 高い志と挑戦する心の育成
  - 学ぶ楽しさ・知る喜びを実感できるキャリア教育の推進
  - ・ 社会貢献体験や自己有用感を育む指導の推進
  - 専門学科の学習を活かし他分野と連携した学習の推進
- 主体的に学ぶ意欲と創造力の育成
  - 基礎的・基本的な知識・技術及び技能の定着
    - ・ 専門の基礎基本の明確化と確実な定着
  - ・ 専門を支える普通科目の「基礎学力」の充実
  - 専門性の向上
    - ・ 企業等における実習を通じた実践力の育成
- 人間性豊かな職業人の育成
  - コミュニケーション力の育成
  - 社会への適応力の育成
  - 規範意識・職業倫理の育成

### 2 地域産業の発展に資する教育の推進

- 地域産業の活性化を図る手・リーダーの育成
  - ・ 郷土やよまがたの理解と地域人材育成ネットワークの構築
- 世界を視野に地域拠点で活躍する人材の育成
  - ・ 国際理解教育の推進、起業家精神の醸成

### 3 産業教育充実の基盤となる学習環境の整備

- 産業界や上級学校等と連携・接続した教育システムの構築
  - \* 多様なキャリアパスによるキャリア形成
  - 【産業界との連携】
    - 実践的な知識・技術及び技能を身に付けた人材の育成
      - ・ 産業界と連携し、専門の実践力を高める教育プログラムの開発
  - 【上級学校との連携・接続(高大連携の推進)】
    - より高度な専門知識・技術を身に付けた人材の育成
      - ・ 5 年一貫教育の一層の充実(工業・看護科)
      - ・ 県立大学校とのカリキュラム連携(農業・工業・情報科)

### 4 専門教育の指導力向上を図る教員研修の充実

- 実践的な指導力向上を図る研修の充実
  - 教員の企業等での研修
  - 産業界と教員の交流の場の設定
- 国際貢献活動の推進
  - 専門性を活かした国際貢献活動を推進し、国際的な視野を持った人材の育成

### 5 少子化に対応した専門高校(学科)の適正配置

- 基本方針
  - 変動する労働市場や多様化する産業社会、時代と地域のニーズを踏まえた「単科型専門高校」「複合型専門高校」「総合学科高校」の適切な配置
  - 【農業】複合型専門高校の配置を軸に検討
  - 【工業】単科型専門高校と複合型専門高校の配置を検討
  - 【商業】単科型専門高校、複合型専門高校、総合学科高校の配置を検討 など
- 高校再編整備
  - 専門学科等の改善・充実策(本審議会の検討)を「県立高校教育改革実施計画(改訂)」に反映

各専門学科の改善・充実策 No 1

	農 業	工 業	商 業	水 産
現 状	<p>□ (県立) 6 校 11 学科 14 学級 食料生産、農産加工、園芸ハウス、環境アクト、生物生産、生物環境、園芸活用、環境緑地、農業、園芸科学</p> <p>○ 進 学：・大学等 9.2%・専修学校等 30.0%</p> <p>○ 就 職：58.9%</p>	<p>□ (県立) 8 校 22 学科 36 学級 (私立) 3 校 機械、機械加工、電子機械、電気、電気加工、情報技術、土木、環境加工、建築加工、等</p> <p>○ 進 学：・大学等 18.8%・専修学校等 21.8%</p> <p>○ 就 職：58.5%</p>	<p>□ (公立) 7 校 8 学科 18 学級 (私立) 3 校 総合ビジネス、国際ビジネス、情報ビジネス、情報経営、国際情報、情報会計、経済、国際コミュニケーション</p> <p>○ 進 学：・大学等 38.9%・専修学校等 26.8%</p> <p>○ 就 職：32.2%</p>	<p>□ (県立) 1 校 2 学科 2 学級 海洋技術、海洋環境</p> <p>○ 進 学：・大学等 4.3%・専修学校等 26.1%</p> <p>○ 就 職：65.2%</p>
め ざ す 人材の育成	<p>○ 農業の総合産業化に対応できる人材の育成</p> <p>○ 本県の農業及び食産業を牽引する人材の育成</p>	<p>○ 実践的な技術・技能を有した人材の育成</p> <p>○ 創造的発想型ものづくり人材の育成</p> <p>○ 国際社会で活躍する人材の育成</p>	<p>○ 将来のビジネスリーダーとなる人材の育成</p> <p>○ 起業マインドと戦略的経営感覚を持った人材の育成</p> <p>○ 国際的視野に立つて地域経済を活性化できる人材の育成</p>	<p>○ 海を活躍の場にする人材の育成</p> <p>○ 海の恵みを創造できる人材の育成</p>
基 礎 本 本	<p>○ 基礎・基本の明確化と確かな習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目と実習内容を明示したシラバスの作成</li> </ul>	<p>○ 基礎・基本の明確化と確かな習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目と実習内容を明示したシラバスの作成</li> <li>・技能の達成目標を明確にした技術ロードマップの作成</li> </ul>	<p>○ 基礎・基本の明確化と確かな習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目内容と達成目標を示したシラバスの作成</li> <li>・資格取得に向けたロードマップの作成</li> <li>・ビジネスに必要な知識と技術の習得と、社会人基礎力の体得</li> </ul>	<p>○ 基礎・基本の明確化と確かな習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産・海洋に関する知識と技術を明確にし、シラバスの作成</li> <li>・中型実習船による特色ある実習</li> </ul>
実 践 力	<p>○ プロジェクト学習等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業クラブ活動を通してプロジェクト学習</li> <li>・各種競技会への積極的な参加</li> </ul> <p>○ 農業の総合産業化に対応した教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地場特産の農産物を活かした商品開発から販売まで、総合的な学習を通し、農業の総合産業化に対応した実践的な知識・技術の習得</li> <li>○ 地球環境保全に関する実践的な学習の推進</li> </ul>	<p>○ 実践的な技術・技能の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の企業における実習</li> <li>・長期のインターンシップ</li> <li>・外部講師の招聘による技術指導</li> <li>・高校生ものづくりコンテストの強化</li> </ul> <p>○ 高度な資格・検定取得の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域やユーザーの視点に立ったものづくりの推進</li> <li>・デザイン教育 (発想から製品化まで) の充実</li> <li>・知的財産権に係る教育の充実</li> </ul>	<p>○ 「コトづくり」教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済活性化のためのアイデアの提案</li> <li>・地産品を使った新商品や観光光プランの提案</li> <li>・まちおこしによる地域経済活性化の提案</li> </ul> <p>○ 基本的生活習慣の確立とビジネスマナーの体得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 進路実現に向けた資格取得</li> <li>○ 新たな体験学習の推進</li> <li>・経営側に立ったインターンシップ等</li> <li>○ 国際化に対応した教育の推進</li> </ul>	<p>○ 実践的な技術・技能の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帆船技術の習得</li> <li>・海産物に付加価値をつける技能の習得</li> <li>○ 山形県の漁法の習得 (イカ釣り・延縄・流し網・刺し網・籠・一本釣り)</li> </ul>
連 携 ①	<p>○ 県立農業大学校との連携による担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業大学校への接続による実践的技術の習得</li> </ul> <p>○ 他学科との連携による教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門を活かし、幅広い視点から新たな課題に対応できる人材の育成</li> </ul>	<p>○ 上級学校との連携・接続によるものづくり人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産技短との連携による実践的技術の習得</li> <li>・大学の講師招聘による専門技術分野の講義</li> <li>・工学系大学に繋ぐ総論教型専門教育による人材の育成</li> </ul>	<p>○ 他校・他学科との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスを創出す商品開発を実践するため、他学科と連携した教育活動の推進</li> <li>○ 上級学校との連携の推進</li> <li>・商業系大学との遠隔授業や継続教育型専門学習の検討</li> </ul>	<p>○ 上級学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上級学校との接続による船舶技術の習得</li> <li>○ 他学科との連携による教育活動の推進</li> <li>・専門を活かし、幅広い視点から新たな課題に対応できる人材の育成</li> </ul>
連 携 ②	<p>○ 地域との連携による教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期インターンシップ</li> <li>・地域の指導農業者、食や農の専門家との連携</li> <li>○ 農業の担い手育成を図る仕組みづくり</li> <li>・卒業後の農業科目の学び直しができる仕組みの検討</li> </ul>	<p>○ 「地域人材育成ネットワーク」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元企業や関係団体と連携した組織の構築</li> </ul> <p>○ 地域企業との連携による実践的なものづくり人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業との連携による技術習得プログラムの開発</li> </ul>	<p>○ 地域や企業と連携した実践的学習システムの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師の活用</li> <li>・産学官によるリアルタイムな意見交換の場の設定</li> </ul>	<p>○ 地域と密着した水産教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産試験所等との海の環境保全に関する共同研究</li> <li>・小中学生への海洋体験学習の実施</li> </ul>
資 質 向 上	<p>○ 実践力を高める教員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業に関する実践的指導力の向上を図るため農家や関係施設、大学等における研修の充実</li> </ul>	<p>○ 実践力を高める教員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業に関する実践的指導力の向上を図るため企業や関係施設、大学等における研修の充実</li> </ul>	<p>○ 実践力を高める教員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商業に関する実践的指導力の向上を図るため企業や関係施設、大学等における研修の充実</li> </ul>	<p>○ 実践力を高める教員研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産に関する実践的指導力の向上を図るため地元関係施設等における研修の充実</li> </ul>
整 備 の 在 り 方	<p>□ 配置の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複合型専門高校の配置を軸に検討する。</li> </ul>	<p>□ 配置の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単科型専門高校と複合型専門高校の配置を検討する。</li> </ul>	<p>□ 配置の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単科型専門高校、複合型専門高校、総合学科高校の配置を検討する。</li> </ul>	<p>□ 配置の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内唯一の水産科として、現状を維持することが望ましい。他学科との併置も検討。</li> </ul>

	家庭	看護	情報	福祉
現状	<input type="checkbox"/> (県立) 2校2学科2学級 (私立) 3校 ・食物・生活クリエイト <input type="checkbox"/> 進学：・大学等 29.9% ・専修学校等 18.2% <input type="checkbox"/> 就職：51.9%	<input type="checkbox"/> (県立) 1校1学科1学級 ・看護 <input type="checkbox"/> 進学：・専攻科 100% <input type="checkbox"/> 就職：なし	平成24年度開校予定 酒田新高校 (仮称) 1学級 ・情報 (仮称)	<input type="checkbox"/> (県立) 1校1学科1学級 ・福祉 (但し、家庭に関する学科として設置) <input type="checkbox"/> 進学：・大学等 20.0% ・専修学校等 42.5% <input type="checkbox"/> 就職：37.5%
めざす 人材の育成	<input type="checkbox"/> 生活関連サービスを支える人材の育成	<input type="checkbox"/> 地域の保健・医療を支える人材の育成	<input type="checkbox"/> ICTを活用し情報化を推進することができる人材の育成	<input type="checkbox"/> 地域の介護福祉を支える人材の育成
具 体 的 な 方 策	基礎基本 <input type="checkbox"/> 基礎・基本の明確化と確かな習得 ・衣食住、ヒューマンサービスに関する学習内容と達成目標を明示したシラバスの作成	<input type="checkbox"/> 基礎・基本の明確化と確かな習得 ・各科目の学習内容と達成目標を明示したシラバスの作成	<input type="checkbox"/> 基礎・基本の明確化と確かな習得 ・各科目の内容と達成目標を明示したシラバスの作成	<input type="checkbox"/> 基礎・基本の明確化と確かな習得 ・各科目の学習内容と達成目標を明示したシラバスの作成
	実践力 <input type="checkbox"/> 実践的な知識・技術の習得 ・全国家庭科技術検定受検、衣食に関する各種コンクールやコンテストへの積極的参加 <input type="checkbox"/> 課題解決学習の重視 ・ホームプロジェクト・学校家庭クラブ活動を通して、課題解決力を重視して実践力及び企画マネジメント能力を育成	<input type="checkbox"/> 5年一貫教育による看護教育の充実 ・看護実践の場を通して知識・技術の習得と統合化 <input type="checkbox"/> 看護サービスの充実 ・他職種との連携を図り、チーム医療に関する実践的な教育の充実を図る。	<input type="checkbox"/> ICTを駆使した課題解決能力の育成 ・高度な技術の習得と、課題の発見と解決、創造力や洞察力を育成する教育の充実	<input type="checkbox"/> 介護福祉士法改正への対応 ・専門科目の履修単位の増加 (94→62 単位) ・指導する教員要件の改正 ・実習時間の増加 (140 時間→445 時間) 等 → 以上の要件を満たす教育課程の検討
	<input type="checkbox"/> 他校や他学科との連携による教育活動の推進 ・福祉、看護など他学科と連携した活動を通して、家庭に関する専門的知識・技術の深化	<input type="checkbox"/> 大学等と連携した看護教育の充実 ・看護サービスの充実を図るため、社会資源の活用や他職種との連携を図り、チーム医療に関わる教育内容の充実	<input type="checkbox"/> 他学科と連携した教育の推進 ・商業、工業など他の学科と連携した活動を通して、情報に関する専門的知識・技術の深化 <input type="checkbox"/> ICTを活用した教育の推進 ・e-ラーニング等を活用し、大学と連携した遠隔講義の実施	<input type="checkbox"/> 大学・福祉関係施設との連携 ・福祉を取り巻く環境についての理解と実践的な介護技術の習得 ・大学や関連施設との連携による外部専門講師の活用
	<input type="checkbox"/> 地域や関係機関との連携による教育の推進 ・衣食住、ヒューマンサービスに係る企業実習や、地域との行政サービス機関などと積極的に連携し、地域に貢献する人材の育成	<input type="checkbox"/> 関係機関と連携した看護教育の充実 ・医療や保健、福祉に係る施設や関係機関と連携し、専門的な教育内容の充実	<input type="checkbox"/> 地元情報機関と連携した教育の推進 ・情報に係る企業実習等を通して、実践的な知識・技術の習得と専門的職業人に必要とされる資質・能力の向上	<input type="checkbox"/> 地域や関係機関との連携による教育の推進 ・介護に係る実習や、地域との行政サービス機関などと積極的に連携し、職業意識や専門的職業人に必要とされる資質・能力の向上
	<input type="checkbox"/> 実践力を高める教員研修の充実 ・家庭に関する実践的指導力の向上を図るため関係施設等における研修の充実	<input type="checkbox"/> 実践力を高める教員研修の充実 ・看護に関する実践的指導力の向上を図るため関係施設等における研修	<input type="checkbox"/> 実践力を高める教員研修の充実 ・情報に関する実践的指導力の向上を図るため企業、大学等における研修の充実	<input type="checkbox"/> 実践力を高める教員研修の充実 ・福祉に関する実践的指導力の向上を図るため関係施設等における研修の充実
整備の 在り方	<input type="checkbox"/> 配置の考え方 ・県内唯一の看護科として現状を維持するのが望ましい。	<input type="checkbox"/> 配置の考え方 ・複合型専門高校の配置を検討する。	<input type="checkbox"/> 配置の考え方 ・複合型専門高校の配置を検討する。	<input type="checkbox"/> 配置の考え方 ・複合型専門高校と総合学科高校の配置を検討する。